

6

新発田市水道ビジョン(平成28年度～令和5年度) 評価結果一覧表

評価指標等の説明

個別事業評価の説明(達成度)

A	良好	事業内容に記載された個別の事業活動が、適正に実施されている又はされたもの。 ただし、指標値が設定されている場合は、実施率が80%以上のもの。
B	普通	事業内容に記載された個別の事業活動に、一部改善の余地があるものの、実施されている又はされたもの。ただし、指標値が設定されている場合は、実施率が60%以上80%未満のもの。
C	要改善	事業内容に記載された個別の事業活動について、早期の改善対応が必要なもの。 ただし、指標値が設定されている場合は、実施率が40%以上60%未満のもの。
D	再検討	事業内容に記載された個別の事業活動を取りやめる又は当面実施を見合わせたもの。 ただし、指標値が設定されている場合は、実施率が40%未満のもの。
—	対象外	実施年度ではないなど、評価できないものなど

実施状況の説明

完了	個別の事業活動において、完了したものの。
継続実施	個別の事業活動において、実施済み又は実施中であるもの。
未着手	個別の事業活動の全てが未実施であるもの。
再検討	個別の事業活動を取りやめる又は当面実施を見合わせたもの。

施設評価の説明

A	良好	施策内における各事業活動ごとの事業評価を考慮し判定を行う。
B	普通	
C	要改善	
D	再検討	

新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）評価結果一覧表

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業費 (千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		② 実施 時期
								執行率	
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」 基本目標1	安全 ～安全でおいしい水道水の供給～	施策1. 安全でおいしい水づくりの より一層の 推進	①水源保護対策の実施 (合併浄化槽補助)	2,400	H28 ～R5	合併浄化槽設置補助 金交付事業実施の有無	360	15%	H28 ～R5
			②安全な水質の維持 江口浄水場の活性炭 設備導入	45,000	H29	江口浄水場の活性炭 設備導入の有無	48,039	107%	H29 ～H30
			②安全な水質の維持 浄・配水施設の計画的 な清掃	0	H28 ～R5	浄・配水施設の清掃 実施状況 (PI:実施率)	0	—	H28 ～R5
		施策2. 老朽管の計画的な更新と耐 震化	①石綿管の更新	340,000	H28 ～H29	石綿管の更新率 (実施延長/計画総延長)	175,425	52%	H28
			②老朽化の進んだ铸铁 管の耐震管への更新	1,300,000	H28 ～R5	古い铸铁管の更新率 (実施延長/計画総延長)	2,786,971	214%	H28 ～R5
			③加治川水管橋の更新	172,966	H29 ～R1	加治川水管橋の更新 の完了	0	0%	未定
			④水管橋の修繕	2,240	R5	水管橋の修繕実施 の有無	10,879	486%	R5
		施策3. より安定した 水の供給を 目指す監視制御 システムの 整備	①監視制御システムの 整備・充実、非常通報 装置の整備	147,264	H28 ～R5	監視制御システム の整備・拡充施設 の設置の完了	231,978	158%	H28 ～R5
			②油監視装置の設置	23,600	R5	監視制御システム の整備・拡充施設 の設置の完了	0	0%	R5
	③簡易水道事業の統合		321,188	H28 ～R1	簡易水道事業の統合	165,780	52%	H28 ～H30	
	④大槻地区の上水道へ の組入れ		275,400	H28 ～H29	大槻地区の上水道 への組入れ	225,580	82%	H28 ～H29	

③R5年度末 評価結果	④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価 の理由
		H28～R1	R2～R5		
A 継続実施	当初計画どおり、申請に基づき該当者への補助を行っているため。	H28:5件 H29:3件 H30:1件 R1:1件	R2:1件 R3:0件 R4:1件 R5:0件	A	計画どおり実施している。
A 完了	活性炭設備の導入に当たり、厚生労働省へ変更認可申請が必要となり、工事を平成30年度に繰り延べたが、計画どおり設置したため。	H29:変更認可申請 H30:設置工事			
A 継続実施	実施率94%のため。菅谷増圧ポンプ場で一部の設備故障があったため、一部清掃ができず、実施率が計画より低くなった。	H28:34% H29:50% H30:49% R1:85%	R2:88% R3:88% R4:95% R5:94%		
A 完了	更新率100%のため。計画期間更新延長 401m	実施延長 H28:401m		B	石綿管は全て更新することができた。今後は古い铸铁管の更新に注力していく。
A 継続実施	更新率86%のため。	実施延長 H28:199m H29:2,703m H30:2,688m R1:2,649m	実施延長 R2:962m R3:1,702m R4:2,588m R5:905m見込み		
— 未着手	国道7号線拡幅事業に併せて水管橋を更新する予定だが、国の拡幅事業が未定であることから着手できないため。				
B 継続実施	令和5年度から修繕を実施する計画だったが、点検、実施設計には着手しているため。		R5:水管橋9橋点検実施、 加治川水管橋改修工事実施設計 (工期R5.12～R6.8)		
A 継続実施	設備等の点検整備を計画的に実施したため。	H28～R1:総合監視制御システム メンテナンス業務委託 H30:下新保非常通報装置更新工事 R1:松岡非常通報装置更新工事	R2～R5:総合監視制御システム メンテナンス業務委託	A	一部、事業計画の変更を行ったが、安定供給を行うための体制が整っている。
— 未着手	計画変更により令和9年度に着手予定。				
A 完了	簡易水道事業の統合に伴い、監視制御システムの整備・拡充を行ったため。	H28:中々山統合整備事業 (粗ろ過池、電気設備、他) H28:遠隔監視制御装置設置工事 H28:滝谷新田発電機、配水P更新工事 H30:板山2他遠隔監視装置機能増工事			
A 完了	平成28年度に上水道への組入れを完了したため。	H28:布設延長:3,793m H28:電気機械設備設置 H29:仮設管撤去工事:741m			

新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）評価結果一覧表

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業費 (千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		② 実施 時期
							執行率		
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」 基本目標Ⅱ	強靱 ～大規模災害にも負けない水道づくり～	施策4①、 浄・配水施設 の計画的な 修繕と更新	①施設更新計画の 計画的な見直し		H28 ～R5	新発田市水道事業中・ 長期計画の見直しの 実施			H28 ～R5
			②沈砂池の修繕	409	R5	各施設・設備の修繕 及び更新の完了	7,678	1877%	H28 ～R1
			③江口浄水場の修繕、 更新	399,399	H28 ～R5	各施設・設備の修繕 及び更新の完了	160,652	40%	H28 ～R5
			④内竹配水場の設備更新	676,791	H28 ～R1	各施設・設備の修繕 及び更新の完了	814,287	120%	H28 ～R1
			⑤増圧ポンプ場の 設備・建屋更新	102,400	H28 ～R5	各施設・設備の修繕 及び更新の完了	211,512	207%	H28 ～R5
			⑥簡易水道施設の修繕、 更新 (土木建設、設備)	0	H29 ～R5	統合事業以外の 各施設・設備の 修繕及び更新の完了	52,772	—	H28 ～R5
	施策4②、 浄・配水施設 の耐震化	①江口浄水場の施設の 耐震化	587,231	R1 ～R5	江口浄水場の施設 (沈殿池、ろ過池、 浄水池)の耐震化完了	491,061	84%	R1 ～R5	
		②内竹配水場の施設の 耐震化	148,777	H28 ～R1	内竹配水場の施設 (第1、第2配水池、 第1、第2ポンプ室) の耐震化完了	499,650	336%	H28 ～R1	
		③江口浄水場、内竹配水 場以外の施設の耐震 診断、耐震化工事	11,300	R4 ～R5	その他施設(紫雲寺・ 真野原・その他) の耐震診断完了	46,983	416%	R2 ～R5	
	施策5、 管路の計画的 な更新と 耐震化	①管路の更新	600,000	R1 ～R5	新発田市水道事業中・ 長期計画に基づく 進捗状況 (実施延長/計画総延長)	425,292	71%	H28 ～R5	
		②導水管、送水管の更新	10,444	R5	新発田市水道事業中・ 長期計画に基づく 進捗状況 (実施延長/計画総延長)	192,874	1847%	R4 ～R5	
		③簡易水道地区の 管路の更新	214,000	H29 ～R3	新発田市水道事業中・ 長期計画に基づく 進捗状況 (実施延長/計画総延長)	167,317	78%	H29 ～R1	

③R5年度末 評価結果	④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価 の理由
		H28～R1	R2～R5		
B 継続実施	財政収支計画を作成するに当たり、次回 水道ビジョン計画期間を含む令和15年度 までの施設更新計画の見直しを行ったた め。	H29:財政収支計画の作成	R5:財政収支計画の作成	A	定期的な修繕・ 更新によって、 施設の長寿命化 を図ることがで きている。今後 も計画的な修 繕・更新を行っ ていく。
A 完了	令和元年度に沈砂池屋根等の改修を 行ったため。	H30:屋根一部補修、アスベスト検査実施 R1:沈砂池屋根等改修工事			
A 継続実施	江口浄水場沈殿池設備の修繕・更新を 実施したため。	H28～H30:沈殿池ローラー取替工事 H28～H30:計装設備更新工事 H28:沈殿池ろ過池塗装工事 R1:ネットワークカメラ更新工事	R2:引込ケーブル更新他 R3:計装設備更新 R4:沈殿池縦ローラー取替他 R5:ろ過池ユニット更新他		
A 完了	内竹配水場設備更新事業として計画し た設備等の更新が令和元年度に完了し たため。	H28:ポンプ他設備更新 H29:ポンプ他設備更新 H30:電気設備等更新 R1:配管等更新			
A 継続実施	経年劣化した施設設備を計画的に更新 したため。	H28:松岡増圧ポンプ場更新工事 H30:小国谷色度計設置工事 R1:荒川増圧ポンプ場更新工事 (構内配管、電気設備)	R2:菅谷カタンク塗装工事他 R3:虎丸配水ポンプ取替他 R4:下石川配水ポンプ取替他 R5:三光配水ポンプ取替他		
A 継続実施	簡易水道事業統合後も適正な修繕・更新 工事を実施したため。	H28:板山1仮設活性炭ろ過設備設置工事 H29:板山1減菌装置等更新工事 R1:板山2次垂注入設備改良工事	R2:板山浄水場屋根塗装工事他 R3:上赤谷次垂注入設備改良 R4:山内配水ポンプ取替他 R5:滝谷新田ろ過水流量計取替他		
D 再検討	浄水池耐震化工事を実施したが、沈殿池 ろ過池更新事業を休止したため。今後は、 既設沈殿池ろ過池の長寿命化事業を 実施する。	R1～R2:基本計画の策定	R2:沈殿池ろ過池更新基本計画 R3～R4:沈殿池ろ過池更新基本設計 R3～R4:浄水池耐震化工事	B	一部、事業計画 の変更を行った が、施設の耐震 化は着実に進ん でいる。
A 完了	令和元年度に内竹配水場施設の耐震化 事業が完了したため。	H28～H29:第1配水池耐震化工事 H30:第2ポンプ室耐震化工事 H30～R1:第2配水池耐震化工事			
A 継続実施	計画を前倒して令和2年度から事業に着 手し、耐震化事業を実施したため。		R2:紫雲寺耐震診断 R3:紫雲寺配水池耐震化詳細設計、 真野原耐震診断 R4:紫雲寺配水池耐震化工事		
C 継続実施	更新率47%のため。	実施延長 H28:56m H29:232m H30:1,457m R1:818m	実施延長 R2:489m R3:1,001m R4:130m R5:495m見込み	B	老朽管の更新に は多くの事業費 が見込まれる が、今後も計 画的に進めてい く。
B 継続実施	江口浄水場整備事業に合わせて実施予 定であったが、前倒して整備を実施した ため。		R4:送水管入替工事実施設計 実施延長 R5:551m		
A 完了	中々山、滝谷新田地区の導・配水管更新 で簡易水道統合整備事業を完了したた め。	H29:中々山導・配水管更新設計委託 H30:中々山導・配水管更新工事、 滝谷新田導・配水管更新設計委託 R1:滝谷新田導・配水管入替・ 原水流量計設置工事			

新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）評価結果一覧表

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業費 (千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		② 実施 時期	
								執行率		
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」	基本目標Ⅱ 強靱 ～大規模災害にも負けない水道づくり～	施策6. 大規模災害に 備えた対策	①大規模災害時応急給水マニュアル（災害時における行動指針）の更新		H28～R5	大規模災害時応急給水マニュアルの更新実施の有無			H28～R5	
			②BCP（事業継続計画）マニュアルの検討	5,000	H29～H30	BCPマニュアルの検討内容	0	0%	H28～R5	
			③浄・配水及び給水に必要な物資の計画的な備蓄等		H28～R5	浄・配水業務に必要な備蓄数の検討			H28～R5	
	基本目標Ⅲ 持続 ～お客様を第一に考えた健全で効率的な事業運営の確立～	施策7. 事業の見直し と効率化	①水道事業の連携形態（民間委託）の検討		10,000	R5	水道事業の連携形態（民間委託）の検討実施の有無	0	0%	R2～R3
				②経費削減		H28～R5	総収支比率（P I 3003）			H28～R5
				③企業債未償還残高の縮減		H28～R5	企業債の未償還残高			H28～R5
		施策8. 料金の水準と 体系の検討	受益者負担の原則にそったより適切な水道料金の提案		H28～R5	料金の水準と体系の検討の有無			H28～R5	
		施策9. 適切な組織 体制の検討	①技術職員の確保と育成のための研修の充実		H28～R5	職員の研修時間（P I：外部、内部研修時間）			H28～R5	
	②組織体制のスリム化と民間委託の推進			H28～R5	水道事業の連携形態（民間委託）の検討実施の有無			R2～R3		

③R5年度末 評価結果	④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価 の理由
		H28～R1	R2～R5		
B 継続実施	平成28年度に更新済みであり、その後、軽微な変更であったことからマニュアルの更新までは至っていないため。	H28:組織体制を更新	R1のBCPマニュアル策定により、BCPの一部として運用する。	B	維持管理コストに見合った数量をキープし、災害時に備えている。
A 継続実施	他事業体での災害を参考にしながら、常に見直しを行っているため。	R1:BCPマニュアル策定	R1の策定から、毎年、見直しを行いブラッシュアップしている。		
B 継続実施	継続的に、給水袋(6ℓ)を購入し、ボトルドウォーター(500ml)を製造している。阿賀野市、胎内市と緊急時における水道管連絡協定を締結済み。浄配水業務に必要な薬品については、契約業者と災害協定を締結済み。	R1備蓄数量 ・給水袋(6ℓ):4,000枚 ボトルドウォーター(500ml):10,000本備蓄 ・給水タンク:240個(10ℓ)、10個(20ℓ)保有	R5備蓄数量(見込み) ・給水袋(6ℓ):1,280枚 ボトルドウォーター(500ml):10,000本備蓄 ・給水タンク:313個(10ℓ)、10個(20ℓ)保有		
A 継続実施	平成28年度から水道料金等徴収業務委託を民間業者に委託済みであり、その実績について検証を行っているため。	水道料金等徴収業務委託の効果を検証し、令和3年度から第2期の水道料金徴収業務の委託を行った。令和4年度に江口浄水場更新基本設計で民間委託の検討結果をまとめたが、更新事業を休止することになった。		A	民間委託により経費削減と受付対応等のサービス向上の効果が得られている。
A 継続実施	計画当初値(H24決算値)100.33%に対し、106.80%(R5決算見込み値)と改善を示しているため。	H28:114.66% H29:109.28% H30:104.34% R1:109.58%	R2:110.75% R3:112.58% R4:109.59% R5:106.80%見込み		
A 継続実施	平成28年度末起債残高7,243,604千円に対し、令和5年度末起債残高6,788,749千円の見込みであり、起債残高の縮減に努めたため。	H28:7,243,604千円 H29:8,004,851千円 (うち旧簡水分817,037千円) H30:7,929,639千円 (うち旧簡水分818,692千円) R1:7,815,147千円 (うち旧簡水分834,221千円)	R2:7,507,655千円 (うち旧簡水分786,780千円) R3:7,252,867千円 (うち旧簡水分738,760千円) R4:7,095,390千円 (うち旧簡水分689,873千円) R5:6,788,749千円 (うち旧簡水分640,383千円)見込み		
A 継続実施	平成28年度から適正な料金水準と体系の検討を始め、平成30年度に水道事業審議会へ諮問、平均改定率10.4%、逓減制の導入を含めた料金体系について答申を得ることができたため。	H28～H29:水道局で検討 H30:新発田市水道事業審議会に諮問・答申 R1:料金改定実施	R2～R5:料金改定の効果の検証		
A 継続実施	新型コロナウイルス感染症流行時以外は積極的に外部研修を受講している。内部研修は、外部研修が充実していることから、内部研修会としては設けず、日常業務の中で指導育成を行っている。	(PI値3103) H28:14.9 H29:14.4 H30:11.7 R1:14.0 (PI値3104) H28:0.0 H29:0.0 H30:0.0 R1:0.0	(PI値C202) R2:4.5 R3:5.5 R4:6.2 R5:6.4見込み (PI値C203) R2:0.0 R3:0.0 R4:0.0 R5:0.0見込み		
A 継続実施	平成28年度から水道料金等徴収業務委託を民間業者に委託済みであり、その実績について検証を行っているため。	水道料金等徴収業務委託の効果を検証し、令和3年度から第2期の水道料金徴収業務の委託を行った。令和4年度に江口浄水場更新基本設計で民間委託の検討結果をまとめたが、更新事業を休止することになった。			

新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）評価結果一覧表

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業費 (千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		② 実施 時期
								執行率	
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」	基本目標Ⅲ 持続 お客様を第一に考えた健全で効率的な事業運営の確立	施策10. 事業の広域化の調査・研究 及び事業の統合	①事業の広域化の調査・研究		H28～R5	事業の広域化の調査・研究事項			H28～R5
			②簡易水道事業との経営統合		H28～R5	簡易水道事業との経営統合の完了			H28
		施策11. お客様へのサービス向上に向けた取組	①お客様への水道情報の積極的な提供		H28～R5	類似都市との情報の提供度の比較(P I)			H28～R5
			②お客様アンケートの実施と活用		H28～R5	アンケート実施の有無(P I)			H28～R5
			③水道水の利用促進		H28～R5	利用促進活動の有無			H28～R5

③R5年度末 評価結果	④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価 の理由
		H28～R1	R2～R5		
A 継続実施	近隣市と緊急時用水道連絡管整備を推進し、県設置の広域化検討会に参画したため。	平成28年度に阿賀野市、令和元年度に胎内市と「緊急時における水道連絡管に関する協定」を締結し、連絡管整備を進めた。広域化の調査・研究を継続するとともに、「新潟県水道広域化プラン」の策定に参画した。		A	近隣市と緊急時における連携体制は整っている。今後も、広域化の調査・研究を継続していく。
A 完了	平成28年度末で市営簡易水道事業を廃止し、平成29年度から上水道事業へ経営統合を行ったため。	事業統合に向けた資産台帳の整理及びシステム化や厚生労働省への届出等			
A 継続実施	類似都市平均値(計画当初値:6.5)と比較すると、数値が上回っているため。	(PI値3201) H28:7.2 H29:8.5 H30:9.4 R1:10.2	(PI値C401) R2:10.9 R3:7.5 R4:6.6 R5:9.0見込み	A	今後も、お客様に積極的な情報提供を行っていく。また、水道水の利用促進に注力していく。
A 継続実施	新型コロナウイルス感染症流行時以外での施設見学会や水道イベントでアンケートを実施している。	(PI値3203) H28:2.79 H29:2.13 H30:0.37 R1:2.92	(PI値C502) R2:0 R3:0 R4:0 R5:3.89見込み		
A 継続実施	未接続世帯の訪問により(コロナ禍以降は文書送付)利用促進を図り、加入実績を上げているため。また、水道イベントを開催し、水道水の魅力についてPRを行った。	H29:訪問世帯175世帯 接続12世帯 H30:訪問世帯163世帯 接続5世帯 R1:接続20世帯 水道イベント及び創設90周年記念事業の実施	R2:文書送付52世帯 接続6世帯 R3:文書送付52世帯 接続9世帯 R4:文書送付50世帯 接続10世帯 R5:文書送付39世帯 接続8世帯 水道イベントの実施及びHP等各種媒体を通じたPR		